

宇治市の教育行政

一適正化検討委員会から NEXUS プランへ

2008年7月20日
宇治市会議員 山崎恭一

1. 宇治市の教育行政の特徴

○ 東宇治のマンモス中学校問題

1980年頃から、東宇治の2校の中学校が京都府（京都市を除く）で一番のマンモス校となり、「東宇治地域に中学校をもう1校」の運動が大きく展開されたが、宇治市は「増築で対応している」「1994年になれば1000人以下になる」として中学校新設をしなかった。実際に1000人以下になったのは2000年で、1980年から20年間、マンモス校状態が続いた。

1988年【最大時】 東宇治中学校 生徒数1,396人 34学級
木幡中学校 生徒数1,343人 33学級

* 文部省の基準 「31クラス以上は過大規模校（マンモス校）」

* 2007年	木幡中	25学級	903人	東宇治中	24学級	852人
	宇治中	16	541人	西宇治中	16	512人
	北宇治中	16	508人	南宇治中	11	298人
	西小倉中	10	294人	槇島中	10	348人
	広野中	18	602人			

* 教委の推計では、「木幡中は」「2005年以降増加傾向が見られ、再び1000人を超す規模となる」とされている

○ 宇治市の教育予算

一般会計に占める教育予算（2006年度決算）

	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	木津川市
教育予算	9.9%	11.1%	11.7%	13.1%	14.1%
	長岡京市	向日市	久御山町	宇治田原町	
教育予算	11.6%	11.7%	17.9%	12.5%	

○ 宇治市の学校施設

・ 教室のエアコン設置状況

宇治市	コンピュータ室
長岡京市	コンピュータ室、図書室（20年9月に普通教室、音楽室、美術室に設置）
向日市	特別教室の一部
城陽市	コンピュータ室、図書室、音楽室
八幡市	コンピュータ室、外国語室（中学校）
京田辺市	中学校のコンピュータ室、仮設校舎の普通教室
木津川市	コンピュータ室、一部の特別教室、小学校普通教室の一部（7室／216室）

久御山町 パソコン室、図書室、(普通教室には扇風機設置)
 宇治田原町 小学校—コンピュータ室、図書室、音楽室
 中学校—コンピュータ室、図書室、音楽室、美術室、家庭科室、技術室他
 井手町 コンピュータ室、視聴覚室、(普通教室は 20 年度から計画的に設置)

・ 耐震改修

2013 年度までかけて改修するとしているが、Is 値の低い学校でも「統合」が検討されている学校については改修時期が明確にされていない。

西小倉小体育館	0.130	北小倉小体育館	0.100
平盛小校舎	0.270	西小倉中体育館	0.280
東宇治中校舎	0.230	東宇治中体育館	0.170
木幡幼稚園園舎			

*Is 値 0.4 以下の建物は、震度 5 程度で多くが倒壊又は大破するとされている

- ・ バリアフリー化、ランチルームの設置 (22 校中 12 校が未設置)、トイレ (洋式トイレ、乾式など) など施設整備の課題は山積している。

2. 適正化検討委員会から NEXUS プランまでの経過

1997 年 7 月 **宇治市小規模校問題等検討会** 議発足

1999 年 3 月 宇治市小規模校問題等検討会議、西小倉地区の学校に焦点を当てた「小規模校にかかる諸問題」をまとめる

「教育活動を円滑かつ効果的に推進するためには一定の学校規模が必要」「学年単学級が連続して発生する状況は大きな問題がある」の 2 点を小規模校対策の主要ポイントとした。

2001 年 5 月 **宇治市学校規模適正化検討委員会** 発足

2002 年 3 月 宇治市学校規模適正化検討委員会、「検討のまとめ」発表

「宇治市の学校の適正規模は、小中学校とも 18 学級を基準としつつ、18 学級以上で過大規模校とならない規模とする」「小学校の卒業生が複数の中学校に分かれることは可能な限り避ける」と提起。

2003 年 5 月 **宇治市学校規模適正化検討懇話会** 発足

2005 年 3 月 宇治市学校規模適正化検討懇話会「答申」

「隣接した小規模校は統合も視野に」「『小中ユニット』という考え方にたった再編」「強固な小中ユニット (小中一貫校) を基盤とした小中一貫教育」

「東宇治地域にあっては、大規模中学校対策としてあらたに中学校を設置することの検討も含めて再整備を図る」

「西小倉小学校、北小倉小学校、南小倉小学校の 3 校と西小倉中学校を統合し」「小中一貫校の設置を検討」、「規模は」「28 学級、約 1500 人と予想される」

2006 年 3 月 **小中一貫教育構想検討委員会** 発足

宇治市では、「『小中一貫教育校』と『小中一貫校』の 2 つの形態を基本とする」と提起

2007年11月 「宇治市小中一貫教育と学校規模等適正化の方向—NEXUSプラン—」発表

2008年1月 1日 地元紙で、市長「地元要望があったところから一貫校をつくる」

1月 25日 「新しい宇治小つくり委員会」「宇治小全面建て替え要望書」のなかで「小中一貫校を」の文言をいれる

3月 市教委、「宇治小学校に小中一貫校を建設」と発表

4月 **小中一貫教育推進協議会**、第1回会議

3. (仮称) 第一小中一貫校

①「小学校の敷地に中学校も併設する」では狭い

- ・ 宇治小学校の敷地は、その70～80%が普通風致地区に指定されていて、高い建物は建てられない。敷地を広げる余地もない。
- ・ 放課後一中学生がクラブ活動をする小学生は運動場で遊べないのではないか
育成学級はグラウンドを使いにくくなるのではないか
- ・ 施設と教員配置で2校分と新しい教育実践にふさわしい配慮がされるのか
教委は「広いとはいわないが、狭くもない」「人員配置だけの問題ではない」

②高松市の小中一貫校との比較

	宇治市「第一小中一貫校」	高松市「新設統合第一小中学校」
敷地面積	19,000 m ²	33,300 m ²
発足時の生徒数想定	1045人	1050人
建設工事費		約50億円
設計委託費	5000万円	1億1000万円
	設計は両市とも「榊佐藤総合設計」	
グラウンド		小学校用と中学校用の計2つ
体育館		体育館棟に小学生用と中学生用の 2フロア
教室数		普通教室 39 特別教室 21 障害児教室 8

	東宇治中学		木幡中学	
1980年	25	988人	25	1,014人
1981年	27	1,039人	30	1,214人
1982年	29	1,135人	27	1,155人
1983年	29	1,163人	29	1,198人
1984年	29	1,203人	30	1,256人
1985年	30	1,264人	31	1,304人
1986年	33	1,320人	33	1,362人
1987年	35	1,384人	32	1,318人
1988年	34	1,396人	33	1,343人
1989年	34学級	1,355人	31学級	1,237人
1990年	33	1,272人	32	1,224人
1991年	32	1,191人	32	1,149人
1992年	31	1,152人	31	1,092人
1993年	31	1,087人	30	1,069人
1994年	30	1,071人	29	1,026人
1995年	28	1,021人	30	1,060人
1996年	28	1,004人	29	1,037人
1997年	28	1,017人	28	1,042人
1998年	28	1,010人	28	1,005人
1999年	29	1,017人	28	1,010人
2000年	28	985人	27	990人